

◆病院の理念◆

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します。

新年のご挨拶



良質で高度な医療の提供を目指して



病院長
黒岩 敏彦

新年明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、本年も健やかに新しい年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。患者さまに最新・最善の医療を安心・安全のもとに提供することが当院の使命であると職員一同が認識し、一丸となって努力してまいりますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

当院は、915床を有する急性期病院として、特定機能病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、大阪府肝疾患診療連携拠点病院、大阪府地域周産期母子医療センターなどの指定のもとに三島・二次医療圏の医療における要を担っています。昨年は、がんセンターのオープンとともに休床中であった24病棟をがん病棟として再稼働させ、がん医療体制の構築に力を注ぎました。また、一昨年は立ち上げました広域医療連携センターの活動が軌道に乗り、昨年は連携の集いなどの催しをとおして各施設との連携をますます深めることができました。

引き続き、患者さまが垣根なく連携施設から当院へ、当院から連携施設へとスムーズに動けますように活動を強めてまいります。昨年10月からは、健康科学クリニックのあるJR高槻駅と

当院との間に無料バスを運行しておりますので、ぜひご利用ください。

今年、1月から電子カルテを導入いたします。これによって連携施設とのつながりが、より密になり、患者さまの受付や会計待ち時間も短縮いたします。また4月からは、休床中である25病棟を開いてすべての許可病床が稼働する予定です。患者さまのアメニティ向上を目指して、手術室・ICU・病棟からなる新中央手術棟が着工する予定です。

当院では本年も、本紙面に掲げる理念を実現するために、全職員が努力してまいります。信頼される病院を目指して、個々人の患者さまの意思を尊重し、安心・安全の医療を行うとともに、広域医療連携センターによって病病連携・病診連携をさらに深め、三島地区の患者さまのための中核病院を目指します。そして、良質で高度な先進的医療を行う特定機能病院として、さらには医学部・看護学部学生の卒前教育病院および医師・歯科医師の臨床研修病院、専門医取得や生涯教育の場を提供する教育研修病院として、本年も行動していく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

信頼の得る

患者さまとともに歩む看護を目指して



副院長・看護部長
小野 恵美子

新年明けましておめでとうございます。皆さまとともに、新しい年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

大阪医科大学附属病院は、特定機能病院として、高度医療を担う診療および、質の高い医療人を育成するための教育・研究を併せもつ病院です。

昨年は、「がんセンター」の設立や広域医療センターの拡充に伴い、患者相談窓口に見守りを配置するなど、患者さまが安心して医療を受ける、あるいはスムーズな在宅支援ができるように各医療機関との連携機能の充実や、看護サービスの向上に努めてまいりました。

我が国は超高齢社会を迎え、疾病構造がより複雑になるなかで、当院では1日平均700名以上の入院患者さまのうち、65歳以上が半数を占めています。このような現状でより安全な医療、看護の提供を行うためには、各職種医療スタッフが相互に補完しあい、専門性を発揮していくことが極めて重要となります。

そのなかで24時間患者さまの最も身近にいる看護師は、治療、療養を総合的に支援する存在であり、チーム医療のキーパーソンとしての役割が求められており、看護部の理念である「患者

中心の看護」の提供に日々努力を重ねています。しかしながら、まだまだ未熟な部分もあり、時には、意見箱でご指導を受けることもあります。これらのご意見も真摯に受け止め、大学病院として社会の要請に応える人材の育成に努めてまいります。

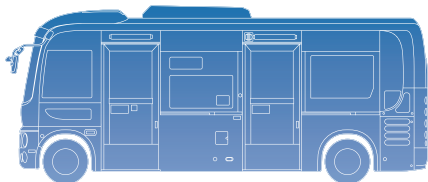
2014年は、午年です。午年にまつわることわざに「人間万事塞翁が馬（にんげんばんじさいおうがうま）」があります。これは「人生における不幸は予測しがたい」ということです。私たち看護職は、人々の人生にたずさわる職業であり、健康の予防からみとりまで人と人との関わりの中で、人々の健康な生活の実現に向けて看護技術を提供していく職業であり、その過程で患者さまから勇気をいただくことも多くあります。

これからも皆さまとともに患者さまの生活の質（QOL）向上を目指して、努力してまいりたいと思います。今後とも、より一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆さまにとりまして素晴らしい年になりますよう、祈念申し上げます。

お知らせ

大阪医科大学附属病院～JR高槻駅・健康科学クリニック 無料シャトルバスの試行運行のお知らせ

平成26年4月からの運行に向けて試行運行期間です。
患者さまならびにお見舞いの方もご利用ください。



- 付き添いの方、お見舞いの方も無料でご乗車できます。（お身体の不自由な方は付き添いの方とともにご乗車ください。）
- バス内での携帯電話、飲食などはご迷惑となりますのでご遠慮ください。また、バス内は禁煙とさせていただきます。
- 運行ルート途中での乗り降りはできません。また、当院以外の目的での利用はご遠慮ください。

試行運行期間

平成25年10月1日（火）～平成26年3月31日（月）
毎週 月曜日～金曜日

運休

土曜・日曜・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

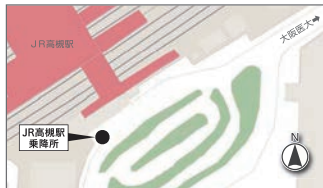
運行時刻表

	JR高槻駅発	大阪医大発		JR高槻駅発	大阪医大発
1便目	9:00	9:15	9便目	-	12:35
2便目	9:20	9:35	10便目	12:40	12:55
3便目	9:40	9:55	11便目	13:00	13:15
4便目	10:00	10:15	12便目	13:20	13:35
5便目	10:20	10:35	13便目	13:40	13:55
6便目	10:40	10:55	14便目	14:00	14:15
7便目	11:00	11:15	15便目	14:20	14:35
8便目	11:20	-			

※当日の道路の混雑状況、天候により時刻表どおりの運行ができない場合がありますのでご了承ください。

乗降場所

JR高槻駅南側ロータリー3番乗り場



病院7号館北側ロータリー付近



「痛みとは」
痛みとは「①病気や傷などによる肉体的な苦しみ ②精神的な苦しみ。悩み。悲



第5回
平成25年
11月16日
ペインクリニックについて
―痛みとその治療・対処法―
麻酔科
藤原 俊介

市民公開講座

「痛みの治療について」
痛みの種類により使用する薬物を使い分ける必要があります。例えば「侵害受容性痛」では、消炎鎮痛薬が使われます。また効果が乏しい場合にはモルヒネなどのオピオイドを使うこともあります。「神経障害性痛」では、抗けいれん薬や抗うつ薬などの鎮痛補助薬といわれるものを使うこともあります。これらの鎮痛薬に加えて神経ブロックを選択することあ

ります。神経ブロックとは専用の針を、神経の近くにすすめて、局所麻酔薬や神経破壊薬などを用いて神経機能を遮断する方法です。麻酔薬が神経に作用し、痛みの刺激が神経を伝わるのをブロックすることで痛みをとり除きます。痛みが緩和されることで血流がよくなり筋肉のこわばりがなくなります。1回で痛みが完治するものではなく複数回実施するのが一般的です。また、併用してリハビリなどの理学療法などを行うことも大切です。

「慢性痛への対処法」
慢性痛はさまざまな要因で生じ、さまざまな状況で変化します。急性痛であれば、やがて痛みは「0」になります。慢性痛は加齢性の変化や長年の経過で起った痛みですので、痛みが完全に「0」になることは、なかなか難しいです。当科に来ていただく患者さまとは治療目標をしっかりと相談して、痛みを和らげること「日常生活をいかにすこしやすくするかを目標に治療をしております。痛みにお悩みの方でペインクリニック受診を希望される方は、かかりつけの先生からの紹介状（診療情報提供書）をご持参のうえ、一度、お越しください。

「目がかすむ」という症状を訴えられる患者さまは、多くおられます。原因はさまざまですが、原因として多いものをいくつか考えてみましょう。1番多いのは、適切な眼鏡を装着しておられないことです。特に40〜50歳にかけて発症する老眼（いわゆる老眼）では、近くをみて、視線を遠くに移すとかすむという症状ではじまることが多いです。このような場合、眼鏡装用で



第6回
平成25年
12月21日
目がかすむんです
眼科
奥 英弘

症状は改善されます。比較的高齢者に多いのは、やはり白内障です。見たい対象がくすむ、周りは比較的はっきり見えるような場合は、加齢黄斑変性症などの可能性も考えられます。したがって、眼鏡で解決しないような場合、やはり眼科へ受診する必要があります。

白内障とは？
白内障はヒトのレンズ（水晶体）が混濁してくる病気です。曇ったレンズ越しに見えることになり、文字通り目がかすんでしまいます。一般的には加齢によるもので、特別な病気ではありません。逆にいうと、薬剤で老化を治療するのは困難ですので、手術が必要となります。

白内障手術は怖くない？
白内障と診断されても、日常生活に支障なければ手術を急ぐ必要はありません。ただし、進行しすぎると、切開を大きくする必要があるため、適切な時期に手術を受けられることを勧めます。手術は一般的に非常に安全で、比較的短時間で終了します。ただし最も良い視力を得るためには、眼鏡が必要です。しかし、老化を克服することができず、唯一の手術であると考えられます。

年末年始の献立について

年末、年始はさまざまな楽しい行事が続く時期です。当院の栄養課では入院中の患者さまに季節や行事を少しでも感じていただけるよう、毎月季節にちなんだ食事を提供しています。その際、食事にはメッセージカードも一緒に添えております。とくに、病院ボランティアグループ「ふれあい」にご協力をいただき、折りあげた折り紙つきメッセージカードも好評で、「気持ちこもって嬉しい」などさまざまな方からご好評をいただいております。

12月の冬至の日には献立にかぼちゃを取り入れ、25日はクリスマスのメニュー、31日には年越しそば、お正月の1/1〜1/3の3日間は正月献立となります。

お正月といえおせち料理ですが、当院でも、気持ちばかりですがおせち料理を毎年ご用意しています。

当院のおせち料理は縁起ものといわれる数の子、黒豆、紅白なますなどを提供しています。三が日には他にも赤飯、散らし寿司や、洋食メニューではエビフライなどを提供しており、飽きのこないメニューを心がけております。

さらに1月7日には、お正月に食べすぎたり飲みすぎたりして疲れた胃袋を整えるために、七草粥を提供しています。

今年も栄養課職員一同、患者さまに喜んでいただける食事サービスを目指し、心を込めたお食事をお届けします。



患者さま満足度調査（入院患者さま・外来患者さま）

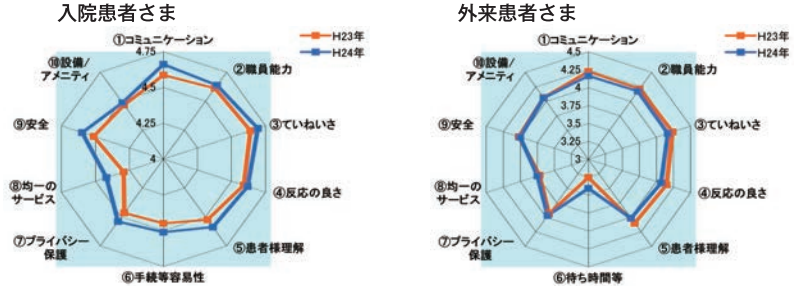
入院患者さま・外来患者さまへ満足度をお聞きしました。

当院で満足度調査を実施いたしましたので、一部を報告させていただきます。ご協力をいただきました患者さま、ご家族の皆さまにはお礼を申し上げます。

対象者	実施期間	回答数
入院患者さま	平成25年2月 1日～2月28日	573件
外来患者さま	平成25年2月13日～2月14日	1,069件

1) 総合的な設問

医療サービスとして重要な10項目について伺いました。



2) 患者さまが重視されていること

当院の患者さまが重視されていることを分析した、上位5位です。

入院患者さま（重要視度%）

- 1位 医師技術・知識 (74%)
- 2位 チームワーク・連絡 (62%)
- 3位 入院中医師説明 (58%)
- 4位 看護師説明・処置 (57%)
- 5位 介助 (55%)

外来患者さま

- 1位 医師技術・知識 (65%)
- 2位 診察室環境 (61%)
- 3位 医師説明 (58%)
- 4位 その他設備 (58%)
- 5位 看護師説明・処置 (54%)

3) 患者さま自由記述

改善するべき点、良い点、とくに改善された点につきまして、ご意見や評価をいただきました。良い点、とくに改善された点については次のようなお言葉をいただき、大変うれしく思います。

入院患者さま

- 改善点 (294件)
良い点 (164件)
特に改善された点 (90件)
その他 (84件)

ご意見

看護婦さんの態度、対応。
トイレ、ふろがきれい。
病院で道が分からなく、困った様子をしていたら、職員の方が自ら訪ねてくれた。
声をかけていただき、助かった。
ナースコールの対応が速い。

外来患者さま

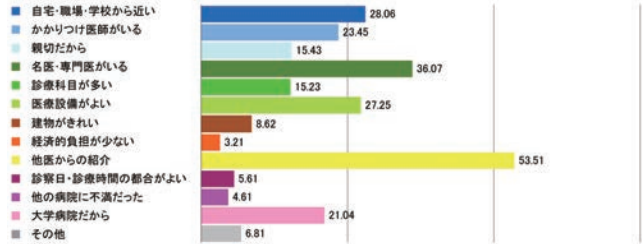
- 改善点 (179件)
良い点 (188件)
特に改善された点 (40件)
その他 (75件)

ご意見

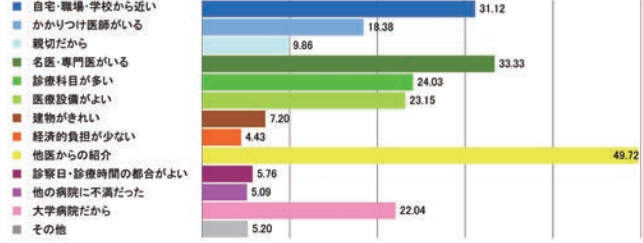
看護婦さんがきちんと知識を持って助言してくれるし、親切。
標準治療でない進んだ治療が受けられる。

4) 患者さまが当院を選ばれた理由

入院患者さま



外来患者さま



まとめ

今回の調査を通じて、患者さまからいただきました評価、お叱り、励ましを全職員で共有し、今後ともより良い病院づくりに取り組んでまいります。患者さまには、お手数をおかけいたしますが、調査などへのご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。また、日常でもお気づきの点がございましたら、サービス向上へのアドバイスをいただきたいと思います。2月に患者さま満足度調査を予定しておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。また、1月4日より電子カルテを導入しました。待ち時間等が予測されますが、患者さまが快適に受診・入院していただけるようがんばります。

患者サービス向上委員会

情報コーナー

コラム紹介「医師の哲学」

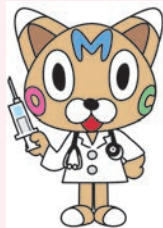
大阪医科大学附属病院で勤務する医師たちのこれまでの経験や思いなどをコラム（広告）にて連載しています。（朝日新聞）

これまでに掲載したコラム（広告）は病院ホームページでご覧いただけます。

大阪医科大学附属病院ホームページ

<http://hospital.osaka-med.ac.jp/>

※朝日新聞社会面にて毎月1〜2回掲載中



©「ニャ近」プロジェクト